

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 1 日 (2014.5.1)

【公表番号】特表 2013-527599 (P2013-527599A)

【公表日】平成 25 年 6 月 27 日 (2013.6.27)

【年通号数】公開・登録公報 2013-034

【出願番号】特願 2013-501693 (P2013-501693)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 1 L 51/42 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/22 D

H 0 5 B 33/14 A

H 0 1 L 31/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 14 日 (2014.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

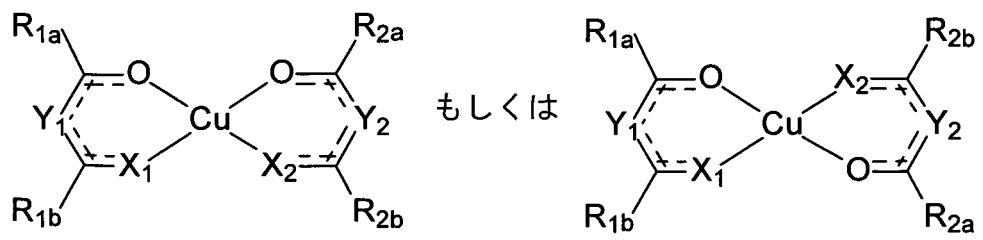
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機電子デバイス用の正孔伝導層であって、
正孔伝導体マトリックス中へ、中心原子と配位子とを含む平面四角形の単核遷移金属錯体を含むドーパントが導入されており、その際に該遷移金属錯体が次の式：

【化 1】



[式中、

Y₁、Y₂は互いに独立して、N、C - R又はC - Hからなり、

X₁及びX₂は、互いに独立してO又はN - Rであり、

R、R_{1a}、R_{1b}、R_{2a}及びR_{2b}は互いに独立して、非分枝鎖状の、分枝鎖状の、縮合された、環状の又は完全にか又は部分的に置換されたC₁～C₂₀アルキル基、置換又は非置換の芳香族又はヘテロ環である]を有する、有機電子デバイス用の正孔伝導層。

【請求項 2】

前記配位子が、アセチルアセトナート (a c a c)、トリフルオロアセチルアセトナート (t f a c)、ヘキサフルオロアセチルアセトナート (h f a c)、6, 6, 7, 7, 8, 8, 8 - ヘプタフルオロ - 2, 2 - ジメチル - 3, 5 - オクタンジオナート (f o d)、2, 2, 6, 6 - テトラメチル - 3, 5 - ヘプタンジオナート (d p m) の群から選択されている、請求項 1 記載の正孔伝導層。

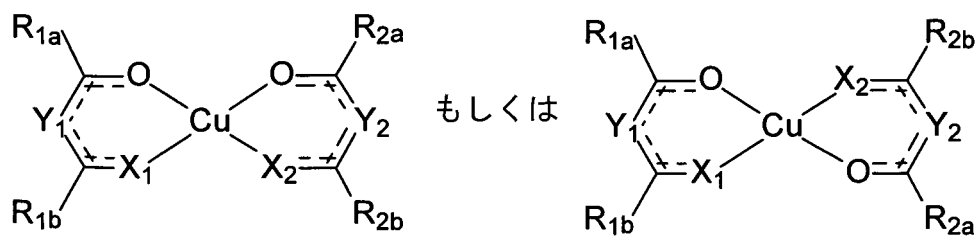
【請求項 3】

有機電子デバイスにおける、請求項 1 又は 2 記載の正孔伝導層の使用。

【請求項 4】

ドーピングされた正孔伝導層を有する有機電子デバイスであって、
そのドーピング物質が、単核であり、かつ平面四角形であり、かつ次の式：

【化 2】



[式中、

Y₁、Y₂は互いに独立して、N、C - R 又は C - H からなり、

X₁及びX₂は、互いに独立してO又はN - Rであり、

R、R_{1a}、R_{1b}、R_{2a}及びR_{2b}は互いに独立して、非分枝鎖状の、分枝鎖状の、縮合された、環状の又は完全にか又は部分的に置換されたC₁～C₂₀アルキル基、置換又は非置換の芳香族又はヘテロ環である]を有する遷移金属錯体を含む、ドーピングされた正孔伝導層を有する有機電子デバイス。

【請求項 5】

自己発光デバイスである、請求項 4 記載のデバイス。